



漫湖水鳥・湿地センターの
夏休み
後半



夏休みアート教室 鳥の絵を描こう!!

8月4日、講師に宮城アケミ先生を招き、鳥の絵を描く講座を行いました。「さあ、みんなは何色が好きかな？」好きな色の画用紙を選んだら作業開始です。宮城先生に教えてもらったとおり、自分の描きたい鳥がどんな鳥の卵に似ているのか考えながら2つの卵を描いていきます。頭と体の間に長い首をもつサギの仲間を描く参加者もいましたが、上手に卵をつないで、鳥の形に仕上げていました。

次は、絵の具の出番です！鳥の羽を1枚1枚丁寧に描いていきます。始まってから2時間、全員ステキな鳥の絵が完成です。ちょっと荒々しいタッチで描かれ、羽の動きが伝わってくるような鳥の絵や青い画用紙に白い羽が引き立つコサギ、子どもたちの豊かな表現力に感心するばかりです。

右：説明中の宮城先生
中央：完成しました！
左：真剣に塗る参加者



夏休み自由研究企画 昆虫標本を作ろう!!

8月5日、講師に杉本雅志先生を招き、昆虫標本を作りました。講座が始まる前から気合の入った参加者たちがセンターに集まってきます。虫かごの中にはカミキリムシやカブトムシなどが顔をのぞかせています。

まずは、先生やボランティアが用意してきた、チョウやハナムグリを標本にしていきます。毒ピンに虫を入れ動かなくなるのを不思議そうに見ている子ども達に「ただ殺すとは違うんやで。みんなの標本になっていただくために死んでもらうんや!!そこら辺にいる虫をむやみに殺したらいかんで!!」と杉本先生。参加者の意識に変化があっ

たのか、丁寧に虫を扱う様子が見られました。細かな作業の繰り返しを次々に行っていきます。子ども達は、瞬きもせず、真剣な顔つきで虫に針を通していきます。ハナムグリやチョウを標本にできたら、次は自分で持ってきた虫の出番です。標本をお父さんやお母さんの手をかりながらも完成させた子、全部一人で仕上げた子も、今にも動き出しそうな自分の作品に満足の様子でした!!

細かい作業中☆上手にできるかな？

関西弁の杉本先生→
真剣に針を通す参加者たち(右2枚)



幼児向け観察会

カニと遊ぼう!!



ワシがカニ博士だ! カニ!!



8月18日、鹿谷法一先生・麻夕先生を講師に招き、カニの観察会を行いました。

いつもは、小学生が多いセンターの講座ですが、「幼児向け」と限定しているだけあって、4歳や5歳のかわいらしいちびっ子がいっぱいです。

センターでカニの見方について説明を受けたあと、干潟に向かいました。そこには、子ども達の人気者「カニ」たちがいっぱい。子どもも保護者も一緒になって夢中でカニを追いかけてました。カニも負けじと一生懸命逃げまわりました。幼稚園児もやっとカニを捕まえることができニコニコと大満足の顔でした。

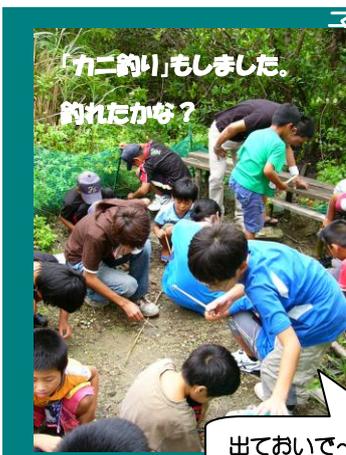
観察の時間も終わりにになりました。鹿谷先生の「みんなには、捕まえたカニを飼うことは難しいから、逃がしてあげようね。ここに来れば、カニに会

えるからね☆」とのお話でカニを干潟に放しました。自然の状態で見るとカニは、画面や写真とはまた違う姿を子ども達に見せてくれました。

カニの観察会は幼児向けの他に、8月12日にも行われました。小学生3年生以上のお兄ちゃん・お姉ちゃん達を中心に沢山の参加者がカニとのふれ合いを楽しんでいました。



こっちなあ?
色は合ってると思うんだけど...。しっくりこないんだよね〜。難しいなあ。



「カニ釣り」もしました。釣れたかな?

出ておいで~!!

八月は、四つのイベントと毎週金曜日のトントニークラブで大忙しでした。前回のたよりで速報として紹介したトントニークラブ回数を重ねることに子ども達の数も増え今年度は皆出席のものも多かったし、なかには、去年も参加していた今年トントニークラブが始まるのを楽しみに待っていた子どももいました。

今年度は、去年とは違い、ボランティアが中心となつて計画を立て、事前のシミュレーションを行い、行事を進めていくことができました。今までの培われた経験を活かし、パワー全開・動動シエチャゲーンやしおり作りなど、楽しい企画を



はい。ちーず☆



力作です!!!



9月	羽数	先月との比較
ゴイサギ	2	→
ダイサギ	5	↑
チュウサギ	6	↓
コサギ	3	↓
アオサギ	4	↑
ミサゴ	2	↑
バン	1	↑
シロチドリ	4	↑
オオメダイチドリ	1	↑
ムナグロ	14	↑
ダイゼン	2	↑
キョウジョシギ	1	↑
トウネン	66	↑
アカアシシギ	14	↑
コアオアシシギ	1	↑
アオアシシギ	6	↑
キアシシギ	68	↑
イソシギ	2	↑
ソリハシシギ	9	↑
ダイシャクシギ	2	↑
ホウロクシギ	1	↑
チュウシャクシギ	20	↑
クロハラアジサシ	1	↑
カワセミ	1	→
合計	236	↑

8月14日 ムナグロ

7月、鳥が少なく寂しかった干潟に、ポツポツとシギやチドリの姿を見かけることが多くなりました。

その鳥たちの中にムナグロを見つけました。

このムナグロは、まさに「胸黒」!! 夏羽です。

他には、冬羽に移行中で、マダラ模様、つまり「胸黒ゴマ」になっているものもいました。

これからどんどんと冬羽の「胸白」が多くなっていくのが楽しみです。



8月31日 トウネン

18時、満潮を迎えようとしている漫湖は、真中だけ干潟が残り、夕方の陽射しを受けて、虹がかかっていました。

残った干潟には、たくさんの鳥たちがしばしの餌の時間を楽しんでいました。

数が多かったのは「トウネン」です。

その1羽、1羽をよく観てみると、顔の赤い夏羽、完全に冬羽になったもの...

羽の色を楽しみながら観察することができました。



8月31日

朝、開館後すぐに来館されたお客さんと大型カメラで干潟を観察しました。

「満潮です...」

しかし、この日の水位は高く、干潟中央部分にあるメヒルギは、そのほとんどが水につかってしまっていました。

その光景にお客様も驚いていました。

ラムサール登録湿地 谷津干潟からのたより ～谷津干潟の鳥たち～

日程：平成19年10月5日（金）～10月19日（金）

場所：漫湖水鳥・湿地センター エントランスホール

写真提供者：荒川 武夫 氏

同じラムサール登録湿地ですが、漫湖とは違う顔を見ることができる写真展です。これを機に他の湿地にも目を向けていただければと思います。

見に来てね☆



漫湖自然観察ウォーキング

日時：10月8日（月） 10時～12時

対象：小学1年生以上（低学年は保護者同伴）

定員：30名・要予約（先着順）

講師：高原 建二先生

集合場所：漫湖水鳥・湿地センター

大人も子どもも大歓迎!!

日ごろ目にしている自然をじっくり観察してみませんか？

持ち物：帽子・タオル・飲み物・筆記用具

歩きやすい服装、靴

参加費：保険料100円

予約受付は、9月24日からです。



団体利用

総入館者数

86,208名



8月の入館者数

2,101名

(うち団体177名)



作品コンクール
9月末まで!!



今月、2000人突破★
たくさんの方々に来ていた
だきました!!



8月	
学童・児童クラブ	地域
つぼみ子どもクラブ	豊見城市
古蔵児童クラブ	那覇市
すこやか児童クラブ	糸満市
保育園・幼稚園	
座安幼稚園	豊見城市
その他	
小祿南小教師研修	那覇市
若狭自治会	那覇市
ハーリー由来実行委員会	豊見城市

夏休みも終わり、新学期が始まりました。毎日子どもたちの声でにぎわっていたセンターでしたが、9月に入って急に静かになってしまいました。

鳥たちの渡りが始まっています♪土日や放課後、望遠鏡をのぞきに子どもたちが顔を出してくれるのを楽しみにしています☆



久高

〈漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会（環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市）〉

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間：9:00～17:00

休館日：月曜日（月曜日が祝日、振替休日の場合・翌日）慰霊の日・年末年始（12/29～1/3）

E-meil:manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP:http://www.geocities.jp/manko_mizudori/